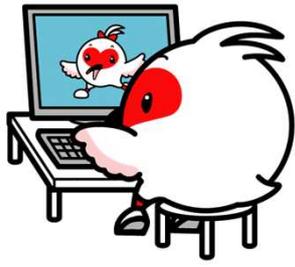


2週間に1回

感染性胃腸炎の流行状況をお知らせしています。

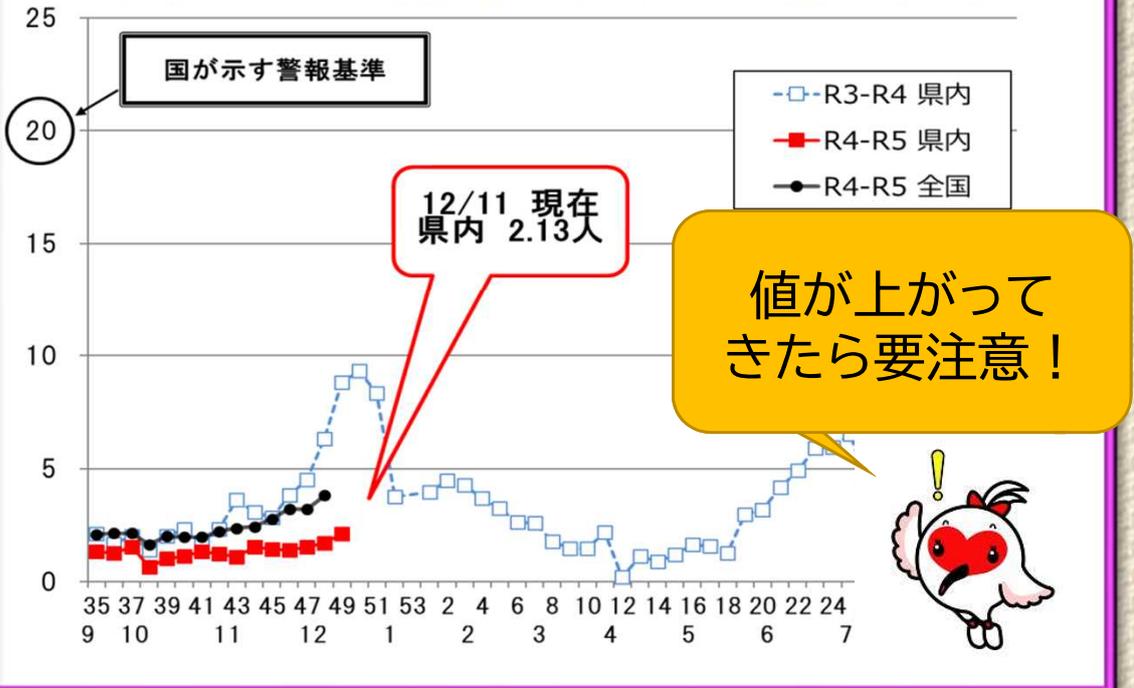


毎年11月から翌年3月まで、「**ノロウイルス情報**」という名称で、県内の感染性胃腸炎（ノロウイルス等による胃腸炎）の県全体・地域別の流行状況等をWebサイトでお知らせしています。

令和4年12月19日号から抜粋

感染性胃腸炎定点当たりの報告数※（感染症サーベイランス）

※報告対象医療機関当たりの感染性胃腸炎（ノロウイルス以外も含む）の患者数



保健所ごとの報告数（定点当たり）

<R4.12.5~12.11>

新潟市	3.19	(↑)
新発田	3.60	(↑)
新津	-	(-)
三条	0.40	(-)
長岡	0.75	(-)
魚沼	2.00	(↑)
南魚沼	0.50	(↓)
十日町	2.00	(↑)
柏崎	2.00	(↓)
糸魚川	4.50	(↓)
村上	2.00	(-)
佐渡	0.50	(↓)
上越	2.50	(↓)

※（）内は、ノロウイルス情報第3号発行時との比較
 (↑:増加、↓:減少、-:増減なし)

県全体の流行状況

地域別の流行状況

「**ノロウイルス情報**」では、流行状況のほか、感染性胃腸炎への**対策**を掲載しています。

令和4年3月22日号から抜粋

入浴時にも注意！ お風呂で気をつけるポイント

感染者の便には大量のノロウイルスが含まれており、ノロウイルスに汚染された浴槽のお湯を介して感染する危険性があります。



- 浴槽利用者の一番最後に入浴し、シャワーのみにするか、湯船につかる場合は石けん液でお尻をよく洗い、流水で洗い流しましょう。
 - 症状が回復したあとも、通常では1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあるため、しばらくは入浴を最後にしましょう。
 - タオルを介した感染を防ぐため、身体を洗うタオルや入浴後に身体を拭くバスタオルは家族と共有しないようにしましょう。
 - お風呂の水は毎日交換し、浴槽、風呂場の床や壁、シャワーヘッド、洗面器等、手で触れる場所をよく清掃します。
- 清掃後に**0.02%次亜塩素酸ナトリウム液**※で消毒すれば、より効果的です。



※塩素系漂白剤（6%原液）を2Lのペットボトルにキャップ2杯入れ、水を加えて2Lにする。



この号では、感染者や同居家族がお風呂で気をつけるポイントをお知らせしたよ

これまでの「**ノロウイルス情報**」は、右のQRコードからご覧いただけます。

<参考：これまでの掲載>

- ◎ノロウイルスの特徴
- ◎ノロウイルス食中毒予防の4原則
- ◎消毒液の作り方

